

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	① 幹線道路の整備	建設環境課
施策の展開方向	●日常生活において、安全かつ快適で円滑に移動できる環境を提供するとともに、災害時におけるライフラインを確保するため、幹線道路の整備を推進します。 ●幹線道路の渋滞緩和に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
橋梁補修・耐震工事【%】	-	73.0	88.0	92.0					100
		対前年増減→	+15.0	+4.0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① ライフラインの確保に係る道路橋梁の整備 【取組の概要（背景・目的等）】 町が管理する道路橋梁（全23橋）において、5年に一度の定期点検を実施し、健全度を把握し、維持管理に努めるとともに、早期措置段階と認められた橋梁については、補修等を実施し長寿命化を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 令和3年度・4年度で第2巡目の道路橋梁定期点検を実施し、管理橋梁（全23橋）の点検が完了しました。 第2巡目の定期点検により、新たに三軒屋橋と二重坂橋において、健全度判定が（Ⅲ）という結果となりました。 第2巡目の点検結果 健全度Ⅰ（健全） 15橋 健全度Ⅱ（予防保全段階） 6橋 健全度Ⅲ（早期措置段階） 2橋 健全度Ⅳ（緊急措置段階） 0橋	A	【今後の取組方針】 令和5年度としては、点検結果を基に道路橋梁の長寿命化を目的とした計画策定の見直しを行うとともに、健全度判定（Ⅲ）となった2橋においては、長寿命化に向けた補修設計及び工事を順次進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	① 幹線道路の整備	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活において、安全かつ快適で円滑に移動できる環境を提供するとともに、災害時におけるライフラインを確保するため、幹線道路の整備を推進します。 ●幹線道路の渋滞緩和に取り組みます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
服部台明星線（服部記念病院前～奈良友誼会病院前）事業進捗率【%】	-	50.0	50.0	79.2					100
		対前年増減→	±0	+29.2					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 都市計画道路の整備 【取組の概要（背景・目的等）】 安全で快適に移動できる道路環境・道路網の整備を推進します。 【実施内容・成果（R04）】 町道下牧高田線と県道中筋出作川合線とのバイパスとなる服部台明星線（都市計画道路）を整備することにより、上牧交差点での交通渋滞が緩和されるとともに、主要施設へのアクセス性の強化と交通の円滑化を図ります。 現在の社会経済情勢や上位計画、都市計画マスタープラン等で示される本町の目指すべき都市将来像に対応した、真に必要な都市計画道路としてその必要性を多角的な視点から検証し、未着手の都市計画道路について見直しを行います。 令和4年度において廃止候補路線3路線について、河合濁香滝線・服部台明星線の2路線を変更、五軒屋南上牧線を廃止する手続きを都市計画法に則り行いました。	A	【今後の取組方針】 令和5年度開通を目指して、服部台明星線の整備工事と接続する下牧高田線の道路改良工事を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	② 公共交通の利便性向上	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を継続するとともに、コミュニティバスをより身近で、より便利なサービスとして認知していただくため、利用促進に取り組みます。 ●町民や利用者、交通事業者、行政関係者など関係する主体により地域課題に対する検討を行い、民間バスとの接続の円滑化など、よりよい地域公共交通の実現に向けて取り組みます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町地域公共交通会議開催数（年間）【回】	○	-	-	-					2
		対前年増減→	±0	±0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 上牧町地域公共交通会議の開催		総合戦略 基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 持続可能な地域公共交通の形成に資する、地域公共交通の活性化に取り組みます。 【実施内容・成果（R04）】 上牧町の内部検討会である上牧町交通網対策検討会議を開催するにあたり、課題を整理し十分な議題を準備することができなかつたため、実施できませんでした。	C	【課題】 鉄道駅のない上牧町にとって、公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズを把握する必要があります。 【今後の取組方針】 公共交通の協議の場である上牧町地域公共交通会議の開催を目指して、他市町村の先進事例を収集し、会議設置規則の制定に向けて準備を行います。 公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズに応えるためにどのような対策を講じるべきかについて、庁内の公共交通関係部局とともに課題の洗い出しを行い、検討を行う内部検討会を実施していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	② 公共交通の利便性向上	総務課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を継続するとともに、コミュニティバスをより身近で、より便利なサービスとして認知していただくため、利用促進に取り組みます。 ●町民や利用者、交通事業者、行政関係者など関係する主体により地域課題に対する検討を行い、民間バスとの接続の円滑化など、よりよい地域公共交通の実現に向けて取り組みます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
コミュニティバス延べ利用者数（年間）【人】	○	42,699	54,747	66,141					60,000
		対前年増減→	+12,048	+11,394					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① コミュニティバスの利用促進 【取組の概要（背景・目的等）】 コミュニティバスの存在の周知及び利便性の向上を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 コミュニティバスの運転に対する苦情が寄せられていることや、運転者の高齢化により運転技術に支障が生じ始めていたことを受け、令和5年度から、民間企業に一部運転業務を委託することとなりました。民間のノウハウや技術を取り入れることにより、更なるサービス向上を図ります。また、ホームページ上や総務課窓口等でコミュニティバス時刻表を公表及び配付し周知を行うことにより利用を促進しています。	B	【課題】 住民の方から昼休憩中の時間も運行してほしいという声や町外へも走らせてほしいという声をいただいています。 【今後の取組方針】 今後、服部台明星線の開通に伴い、バス停増設、昼間ダイヤの改正を行う予定です。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	③ 生活道路の整備	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生活道路の舗装維持工事の整備を推進します。 ●町内各生活道路の維持・管理に努めるとともに、要改修箇所の整備に努めます。 ●自転車の通行空間における安全面の確保に向けて、自転車優先道路の整備等に向けた検討を行います。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
道路舗装【km】	-	22.0	24.1	26.0					40.0
		対前年増減→	+2.1	+1.9					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 計画的な道路修繕の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 道路整備について、舗装の長寿命化を図るため個別施設計画及び自治会要望を勘案し、道路環境及び道路網の整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 車道の整備実績として、路線数9路線、累計延長1.9kmの舗装修繕を実施しました。 歩道整備事業について、歩道の片側累計延長約28.1kmについて、現状の傷み具合を調査し、路線の重要度等を勘案し、長寿命化に向けた個別施設計画を策定しました。	A	【今後の取組方針】 引き続き、個別施設計画及び自治会要望を勘案し、道路環境及び道路網の整備を進めていきます。歩道整備事業について、現在、車道部分の整備を主として工事を実施していますが、今後は歩道整備についても計画を立て順次、歩道整備を進めていきます。
取組② 自転車優先道路の整備等に向けた調査・研究 【取組の概要（背景・目的等）】 自転車の通行空間における安全面の確保に向けて、自転車優先道路の整備等に向けた検討を進めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 自転車道の整備について、他市町村の動向を注視するとともに、県管理課との調整及び警察との協議を行い、実施の有無及び規模等について勘案していきます。	B	【課題】 滝川遊歩道の整備工事が実施され、右岸側に自転車優先道が整備されましたが、現道との取り合い部（町道横断部、始点終点部）においては、自転車優先道としての整備が残されている状態です。 【今後の取組方針】 自転車優先道路としての範囲やルート及び起終点における隣接する自治体との協議を実施し整備について検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	④ 交通環境の改善	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●通過交通の多い道路については、歩道の設置に向けた検討または設置の要請を行います。 ●狭あい箇所や見通しの悪いカーブ、交差点等の改良を進めるとともに、道路の維持管理に努めます。 ●違法駐車や放置自転車の取り締まりと啓発を進めます。 ●植樹帯や街路樹、フラワーボットを設置するなど、快適で心地よい道づくりを進めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
交差点交通安全対策（バリカー設置）【%】	-	-	47	68					100
		対前年増減→	+47.0	+21.0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内の危険箇所への交通安全設備の設置 【取組の概要（背景・目的等）】 通過交通の多い道路、交差点において、安全面での改良を進めるとともに、道路の維持管理を進めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 ●交通安全対策工事 カーブミラー設置 N=4箇所（松里園地区、葛城台地区他） 交差点防護柵設置 N=4箇所（五軒屋地区ジョーシン前、桜ヶ丘地区（つくも橋前、レンガ通り前）、ささゆり台（ラスバ前）交差点）	A	【今後の取組方針】 交通量の多い交差点部において、車両の逸走時の安全対策として、物理的な歩行者の安全対策を実施し、安全で安心な通学環境を整える工事を進めていきます。
取組② 道路空間の環境改善 【取組の概要（背景・目的等）】 施設の維持管理・修繕を計画的に実施し、安全、快適に移動できる道路空間の形成を目的とした整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 ●交通安全施設工事 区画線設置・復旧（主要路線）、交差点舗復旧、車線分離標復旧 ●街路樹及び歩道改修 桜 N=5本撤去 N=3本植え替え（桜ヶ丘（西名阪沿い））	A	【今後の取組方針】 道路施設の老朽化が進行しているなか、施設の維持管理・修繕を計画的に実施し安全、快適に移動できる道路空間の形成を目的とした工事を進めていきます。 通学路において、歩道の無い道路の路肩や信号のない交差点部について、カラー化等により車両と歩行者との通行空間を視覚的に分離することで通行車両の速度抑制を図り、歩行空間の環境改善を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
施策の展開方向	① ごみの減量化・資源の再利用 ●3R【「リデュース（ごみになるものを減らす）」「リユース（繰り返し使う）」「リサイクル（資源として再び使う）」】を積極的に呼びかけ、適正な分別により家庭から排出されるごみを減らすように努めます。 ●資源化やリサイクルに関するイベントの実施を通じて住民の意識向上を図るとともに、民間事業者と連携しながら、循環型社会の実現に向けて取り組みます。 ●生ごみの有機肥料化への取組に対して積極的な支援を行います。	建設環境課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
可燃ごみの収集量（年間）【t】	-	3,431 対前年増減→	3,435 +4	3,344 -91					2,717
再生資源集団回収量（年間）【t】	-	719 対前年増減→	695 -24	656 -39					941
資源ごみの収集量（年間）【t】	-	193 対前年増減→	171 -22	187 +16					198

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① ごみの分別・減量化の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 ごみの分別かつごみの減量について周知徹底し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を目指します。 【実施内容・成果（R04）】 ポカシ菌バケツ（新規）の配布をしました。（令和4年度27個、令和元年度29個、令和2年度67個、令和3年度49個） 家庭から出る不用品をリユースする目的でフリーマーケット（バガスタフェスタ）を実施しました。（9店舗）	B	【課題】 フリーマーケット開催については、家庭の不用品であるか疑わしい商品を販売している例がありました。 【今後の取組方針】 出店者に趣旨の理解を求めていきます。また、令和4年度は23件の応募があったことから、令和5年度においては出店数を増やしていきたいと考えています。 ポカシ菌の配布については今後も継続して行います。
取組② 資源物分別の啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 廃棄物のうち、資源物の排出割合を増やし、ごみの減量と温室効果ガス削減を目指します。 【実施内容・成果（R04）】 転入者に雑がみ保管袋を配布し、今までごみとして排出していたものでも資源ごみとなりうるものがあるので、できる限り分別していただくよう説明しました。	B	【課題】 資源ごみが可燃ごみとして廃棄されている割合が多いです。 【今後の取組方針】 広報等で繰り返し啓発を行うことで再生資源集団回収量の増加と可燃ごみ収集量の削減を図ります。
取組③ ごみの分別・減量化に向けた情報の発信 【取組の概要（背景・目的等）】 ごみの分別・減量化について、広報等で発信することで、ごみの減量を目標とするほか、分別等の間違い等のトラブルを防止します。 【実施内容・成果（R04）】 「転入者に窓口でお知らせすること」、「粗大ごみ廃棄の際に、できるだけ再利用の方法を提案すること」を行いました。 秘書人事課の協力のもと、LINEで居住区域を登録するとごみ出しの前日に「明日は〇〇ごみの日です」と通知ができるようにしました。（当日の通知もできます。）	A	【今後の取組方針】 引き続き広報やSNSを通じてごみ減量に向けた記事を掲載します。特に、収集中に収集車の火事が複数回あるため、事故や収集車の故障を防止するために町民に定期的に啓発していく必要があると考えています。 また、事業所向けのごみ排出方法の明記が今までありませんでしたので、発信できるよう進めていきたいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
	② ごみ収集体制の構築・充実	建設環境課
施策の展開方向	●再資源化への取組を強化するうえで、2025年（令和7年）からはじまる広域ごみ処理施設の稼働にあわせて、適応なごみの分別収集を推進します。 ●広報などを通じて、ごみの分別収集の徹底を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 広域ごみ処理施設の運営 【取組の概要（背景・目的等）】 山辺・県北西部広域環境衛生組合のごみ処理施設が令和7年度から稼働することに伴い、同組合に準じた分別方法や持込方法にしていきます。 【実施内容・成果（R04）】 山辺・県北西部広域環境衛生組合は令和7年度から稼働予定となっており、同組合に準じた分別回収方法に統一済みです。	A	【今後の取組方針】 同組合へのごみの持込方法や持込時間等について、町または両方で決定していくこととなります。
取組② ごみ収集サービスの見直し・検討 【取組の概要（背景・目的等）】 ステーション方式とふれあい収集の両収集体制でごみ出し困難者ができないようにしていきます。 【実施内容・成果（R04）】 概ね65歳以上の独居かつ要介護2以上の希望者にふれあい収集を利用いただいています。（令和4年度：29人） 可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック製容器包装、資源ごみ（ペットボトル・空き缶・空きビン）の内、利用者の希望に沿って収集日に回収をしました。 利用日にごみが排出されていない場合、利用者等に電話をし、安否確認を行いました。	B	【課題】 高齢化に伴い収集体制の見直しが望まれます。 【今後の取組方針】 戸別収集に関しては業務員の雇用や業務委託等諸問題があることから、将来の実現に向けて慎重に検討する必要があります。 令和5年度は広報等でふれあい収集の周知をすることで認知度を上げ、必要な時にサービスが行き届くようにしていきたいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
施策の展開方向	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実	まちづくり推進課
●静香苑及び町営墓地の適切な維持管理に取り組みます。 ●静香苑の利用者ニーズに応じた利用方法等の見直しを行い、より充実したサービスの提供に努めます。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	総合戦略
取組① 町営墓地の維持管理の充実 【取組の概要（背景・目的等）】 静香苑及び町営墓地の適切な維持管理と利用者のためのサービス向上に努めます。 【実施内容・成果（R04）】 定期的な巡回パトロールを行いました。 維持管理については、墓地敷地内の通路溝の清掃や樹木の剪定伐採を実施しました。 ・樹木剪定 維持管理（敷地内通路及び溝の清掃、樹木剪定） 年1回 8月実施 ・職員による定期的な巡回パトロール（不法投棄や樹木の成長具合確認） 月1回	B	【課題】 未使用墓地に関する利用者への周知が図れていません。 【今後の取組方針】 使用資格のある要望者に対し、使用許可を行っていきます。また、住民への周知方法として広報掲載・ホームページ掲載・チラシ配布等も検討していきます。	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
施策の展開方向	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実	建設環境課
	●静香苑及び町営墓地の適切な維持管理に取り組みます。 ●静香苑の利用者ニーズに応じた利用方法等の見直しを行い、より充実したサービスの提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 静香苑の利用者ニーズに応じた管理運営体制の充実 【取組の概要（背景・目的等）】 構成3町（王寺町・河合町・上牧町）の利用者の要望に対し、検討しながら適切な運営管理を行います。 【実施内容・成果（R04）】 火葬炉維持管理年次計画のとおり、次の作業を行いました。 ・耐火材全面積替 ・残灰集塵機整備 ・動力盤更新 ・空調設備修繕 （式場室外機修繕、待合ホール室外機修繕、室内機熱交換器修繕） ・自動ドア装置更新（令和4年度～令和7年度で10カ所） ・ガス警報器増設 ・計器用変圧器取替工事 ・静香苑斎場予約システム機器更新・改修 法要室の利用は、令和3年度までは通夜または告別式を執り行った利用者のみが可能でしたが、住民からの要望があったことで令和5年2月から法要室のみ利用も可能としました。	A	【今後の取組方針】 令和5年度の火葬炉維持管理は、耐火材全面積替、換気ファン更新、中央監視盤更新を行う予定です。 ・空調設備修繕 （式場室内機、ロビーエントランス室外機） ・LED化改修工事（令和5年度～令和7年度） （令和5年度は待合ホールを実施予定） ・自動ドア装置更新 （令和4年度～令和7年度で10カ所） ・高圧気中開閉器、方向性地路継電気取替工事 ・駐車場外灯ポール改修工事 ・公用車購入 現在は住民からの要望はありませんが、要望があればできる限り柔軟に対応したいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
① 良好な住環境の確保		まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●快適な住環境の整備を図るため、県及び町の開発指導要綱に基づいた適切な土地利用を推進します。 ●安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。 ●人口減少に伴い増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源として利活用に取り組みこすることで、地域課題の解決や移住・定住促進につなげます。 ●入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
既存木造住宅耐震改修補助件数（年間）【件】	-	-	-	2					2
		対前年増減→	±0	+2					
空き家・空き地バンク登録件数（累計）【件】	○	4	4	-					15
		対前年増減→	±0	-4					
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 既存木造住宅の耐震化促進 【取組の概要（背景・目的等）】 安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助等を行います。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度においても町内の既存木造住宅について耐震診断・耐震改修の補助事業を実施し、耐震診断については5件、耐震改修については2件の申請について補助を実施しました。	A	【今後の取組方針】 既存木造住宅の耐震診断及び改修の必要性について、引き続き周知を行います。 令和5年度以降についても、耐震診断・耐震改修の補助事業を実施します。
取組② 空き家利活用の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源としての利活用に取り組みます。 【実施内容・成果（R04）】 空き家・空き地バンクへの物件の登録について、空き家所有者等からの新規相談が5件あり、所有者立会いの下の現地調査は3件行いましたが、上牧町空き家バンク登録には至りませんでした。 空き家・空き地バンクの物件の利用登録について、新規相談が12件、利用登録が7件ありました。 また、過年度より空き家バンクに登録のあった4件の物件については、内2件が空き家バンクを介さない経路での売買・譲渡等により、その他の2件が登録年限の超過により登録が解除されました。	B	【課題】 空き家の利活用を進めて行く上で、空き家・空き地バンクへの物件の登録件数を増やす必要があります。 【今後の取組方針】 上牧町空き家・空き地バンク及び空き家コンシェルジュの情報提供を空き家所有者に対して行い、利活用を検討しているかたに対して、空き家バンクへの登録を促します。 空き家・空き地バンクの制度についてSNS・ホームページ等利用者に向けた媒体を用い、よりわかりやすい周知を徹底します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
施策の展開方向	① 良好な住環境の確保	企画財政課
<p>● 快適な住環境の整備を図るため、県及び町の開発指導要綱に基づいた適切な土地利用を推進します。</p> <p>● 安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。</p> <p>● 人口減少に伴い増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源として利活用に取り組み、地域課題の解決や移住・定住に努めます。</p> <p>● 入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。</p>		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数（年間）【回】	○	3	5	3					4
		対前年増減→	+2	-2					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
<p>取組① UR都市機構等関係者との協議</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 西大和片岡台団地において、高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担う生活支援アドバイザーが令和3年度から配置されたことに伴い、活動状況の報告をいただきました。また、都市計画についての内容等、近隣のURの動向等、情報交換を行いました。</p> <p>《生活支援アドバイザーの活動》 終活セミナー&フラワーアレンジメント、呼動バランス体操、ハッピーメイクアップ、誤嚥予防健康講座、生活不活発病講座&健康体操</p>	B	<p>【課題】 生活支援アドバイザーの設置等、高齢者向けの施策については、一定程度進んでいますが、若者世帯向けの施策についての取組が必要です。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、UR都市機構と連携し、若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度や若者に好まれる環境整備等、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望等を行います。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
施策の展開方向	② 町営住宅等の適正な管理運営	まちづくり推進課
	<ul style="list-style-type: none"> ●ライフサイクルコストの縮減を目指し、「上牧町営住宅長寿命化計画」に基づく予防的保全管理、長寿命化に資する改善を実施します。 ●町営住宅の状況や将来に対する見通しを踏まえ、町営住宅等の適切な管理運営に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
町営住宅管理戸数【戸】	-	422	421	421					380
		対前年増減→	-1	±0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	総合戦略
取組① 町営住宅等の適切な修繕・改善			-
【取組の概要（背景・目的等）】 町営住宅の経年劣化による修繕の見通しを考え、適切な管理を実現を目指します。 【実施内容・成果（R04）】 維持管理（修繕）について、適正に実施しました。 《維持管理（修繕）の件数》 町営住宅33件、改良住宅23件 （修繕内容：屋根雨漏り、壁修繕、排水管修繕等）	B	【課題】 空き家住宅に対して、適切な対応を行う必要があります。 【今後の取組方針】 老朽化の具合によって、除却を含めた運用に取り組んでいきます。	
取組② 社会的特性を考慮したストックマネジメントの推進			-
【取組の概要（背景・目的等）】 町営住宅のライフサイクルコストの縮減を目的に、住宅のストックマネジメントを形成します。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度に上牧町営住宅等運営基本方針策定委員会を実施しました。その会にて、各委員にストックマネジメントの考え方を共有し、基本方針を策定していくことになりました。	B	【課題】 町営住宅等の着実かつ効率的・効果的な修繕・維持管理のための住宅ストックのデータベース構築を行う必要があります。 【今後の取組方針】 町営住宅等の整備・管理データを住宅単位で整理します。 日常点検や定期点検、計画修繕など実施後、速やかにデータ更新を行います。 緊急対応的な点検・修繕・改善を実施した場合には、その都度、対応結果をデータベースに反映させます。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-4 上水道・下水道	担当課
	① 安定した給水体制の構築	上下水道課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●安定した供給が行えるよう、施設の更新、耐震化、拡張等を計画的に推進します。 ●老朽化した施設については、維持管理体制を強化し、漏水防止などに努めます。 ●水道事業の適正な運営に努めるとともに、県域水道一体化の実現に向けた県及び関係市町村との調整を行い、持続可能な水道水の安定供給や水道料金の統一化を図ります。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
有収率【%】	-	93.95 対前年増減→	95.4 +1.5	95.2 -0.2					94.3
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	総合戦略
取組① 県域水道一体化に向けての県及び関係市町村との調整 【取組概要（背景・目的等）】 人口減少社会の進展による水需要の減少等により、水道事業を取り巻く経営環境は今後ますます厳しくなり、限られた資源の中、効率的で持続可能な水道事業経営が求められており、県内水道事業の課題を解決し水道の基盤強化のため、県及び市町村の広域連携実現を目的としています。 【実施内容・成果（R04）】 令和5年2月1日に、県及び関係26市町村並びに奈良県広域水質検査センター組合の長により、一体化後の運営方針である基本計画が策定されるとともに、「水道事業等の統合に関する基本協定」が締結されました。 《基本協定締結団体》 奈良県、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、宇陀市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、磯城郡水道企業団（川西町、三宅町、田原本町） 奈良県広域水質検査センター組合	A	【今後の取組方針】 引き続き、基本協定締結団体で連携し、令和7年度の事業統合に向け、より具体的な検討協議を進めていきます。	-
取組② 計画的な維持管理と更新 【取組概要（背景・目的等）】 管路更新工事を実施するため、更新対象となる管路を抽出し経年化した進む管路と、地震対策として耐震性能の低い管路を重点的に更新するため、更新計画を令和3年度に策定し、今後については、布設より40年以上で非耐震管路を対象とした更新工事を実施することを目的としています。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度において、上牧交差点配水管更新工事を当初計画していましたが、管路更新計画の結果を基に工事実施箇所の再検討を行ったところ、管種強度が低く布設年度が古い服部台大和団地行き配水管の布設替え優先度が高いことから、工事箇所を振替えて実施することとなり、配水管布設替え工程は完了したものの舗装復旧工程が年度内竣工が難しく事業が繰越となりました。	B	【課題】 管路更新計画より更新優先度の高い管路の中から施工実施箇所を再度精査し業務を効率化する必要があると考えています。 【今後の取組方針】 今後の事業においては、更新優先度の高い管路の中から施工実施予定箇所を再度精査選定し、円滑な事業実施を進めていきます。	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-4 上水道・下水道	担当課
	② 下水道の普及	上下水道課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●現在実施している上牧町流域関連公共下水道整備については、未整備地区の整備を進め、早期完了を目指します。 ●下水道事業の健全経営に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共下水道普及率【%】	-	95.71	96.1	97.6					97.5
		対前年増減→	+0.4	+1.5					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	総合戦略
取組① 下水道ストックマネジメント計画に基づく老朽化管渠の改築更新			-
【取組概要（背景・目的等）】 長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位づけを行ったうえで、施設の点検・調査・修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化することを目的とし施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 現在実施中の本計画については、令和2年12月に策定した改築計画に基づき、片岡台1丁目地区内において進めており令和6年度の完成を目標とし取組んでいます。令和4年度については、延長にして約150mが完成し予定通り進められています。	A	【今後の取組方針】 令和7年度以降については、友が丘地区において着手していく予定です。	
取組② 下水道事業公営企業会計の適用			-
【取組概要（背景・目的等）】 公営企業は、地域の住民サービスを担う企業であり、人口減少等による料金収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大など厳しさを増す経営環境を踏まえ、地方公共団体が公営企業の経営基盤の強化や財政マネジメントの向上等にさらに的確に取り組むために、公営企業会計の適用を目的としております。 【実施内容・成果（R04）】 下水道事業公営企業会計の適用については、令和2年度から移行作業を開始しており、令和5年度移行に向けて予定通り移行手続きは完了しました。	A	【今後の取組方針】 移行後については、公営企業会計が独立採算制が基本原則となることから、料金改定に関する検討及び経費回収率の向上に向けたロードマップの作成を予定しています。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-5 バリアフリー	担当課
施策の展開方向	① 面的・一体的なバリアフリー整備の推進	建設環境課
●障がい者はもとより子どもや高齢者などすべての人が安心して歩ける道路等のバリアフリー整備を進めます。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
歩道のバリアフリー整備状況 [m]	-	500	500	500					1,140
		対前年増減→	±0	±0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 主要道路のバリアフリー整備 【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者はもとより子どもや高齢者などのすべての人が安心して歩ける道路等のバリアフリー整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 令和5年度から実施計画である歩道の移動等円滑化整備事業に取り掛かります。 町道 下牧高田線 約800mの区間（上牧交差点から友誼会病院）において、段差解消及び点字ブロックの整備を目的とした測量設計業務を行うための準備を行いました。	A	総合戦略 - 【今後の取組方針】 上牧町バリアフリー基本構想の策定及び上牧町バリアフリー基本構想特定事業計画の策定により、上牧町における重点整備地区が定められました。 またこれらの計画策定に伴い、下牧高田線及び米山新町線の歩道において、現道の幅員内での対策として歩道の段差解消及び点字ブロックの整備を進めていきます。
取組② 道路等と一体的な公共施設のバリアフリー化の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者はもとより子どもや高齢者等、すべての人が安心して利用できる公園のバリアフリー整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 葛城台地区のぼんださん公園におけるブランコについて、インクルーシブ遊具を4席中2席導入しました。 （公園選定理由としては、滝川遊歩道の整備が完了したこと、ブランコ（4席）であること、公園と道路との高低差が少ないことから、この公園への設置を行いました。）	A	総合戦略 - 【今後の取組方針】 今後も、出入口が急勾配な坂及び段数の多い階段等、対策が必要な公園についても、フラットな出入口の設置について検討していきます。 令和5年度に友が丘西公園においては、出入口が段数の多い階段の為、フラットな出入口を設置します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-5 バリアフリー	担当課
施策の展開方向	② 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの推進	福祉課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律である「奈良県障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に従った整備、調整等に努めます。 ●地域で障がいのない人も平等に共生することができるよう、きめ細やかな支援を実施します。 ●障がいのある人や高齢者、妊婦等が毎日の生活の中で暮らしにくくしているもの、困っていること（社会的障壁）を取り除くために、費用や労力等の負担がかかりすぎない範囲でできる支援について啓発を行います。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
手話養成講座受講者数（年間）【人】	-	6 対前年増減→	6 ±0	10 +4					10
ヘルプマーク配付数（累計）【人】	-	114 対前年増減→	147 +33	221 +74					300
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 心のバリアフリー意識の醸成		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 障がいのある人もない人も暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、障がい特性理解を啓発し、心のバリアフリー意識の醸成を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 手話養成講座は入門編・基礎編を2か年のサイクルで実施しており、令和4年度は入門編を全21回開講し、10名(全国延べ183名)が受講、9名が修了されました。 上牧町手話言語条例制定に向けて当事者や関係団体に参画いただき勉強会、ワークショップを3回開催しました。 民生児童委員協議会の定例会にて、民生児童委員の方向けに広く障害福祉に関して知っていただくための説明会を実施しました。（参加者36人） 障害理解促進啓発事業により「ヤングケアラー」をテーマとした住民講座を開催しました。（西和7町合同開催 参加44人）	A	【今後の取組方針】 社会福祉協議会や上牧町聴覚障害者協会と連携し地域で不足する手話通訳者の確保を目指し、受講者増に繋がる施策や、講座修了者へのさらなるスキルアップに資する取組を検討します。 手話言語条例の取組を進め次年度制定を目指します。（ワークショップの継続 パブリックコメントの実施） 障がい理解に特化したテーマを検討し住民講座を実施継続します。
取組② 合理的配慮の推進・啓発		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 障がいのある人もない人も暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、合理的配慮推進・啓発に向けた取組を推進します。 【実施内容・成果（R04）】 障害者週間の期間中に、町立図書館にて合理的配理解促進に係る書籍やパンフレット、内部障がいや精神疾患等により周囲に配慮を必要としていることを知らせる『ヘルプマーク』を展示するコーナーを設置し啓発活動を行いました。ヘルプマークについては計74人（前年度33人）の申請がありました。 西和7町人権施策部会の取組の中で合理的配慮の事例集作成のための事例収集を目的とした官公庁、福祉サービス事業所、外出先、支援者等へのアンケート調査を行い、結果をもとに合理的配慮の好事例をとりまとめる検討会を3回実施しました。	A	【今後の取組方針】 ヘルプマークの周知については、配付数は増加傾向ですが、一層の認知と理解を深めるために、障害者週間期間中の啓発施策の拡大や期間外での取組方法等について検討を行います。 合理的配慮の事例集作成を継続し、役場窓口や障がい福祉サービス事業所、公共施設など幅広く配布し、啓発を推進します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
施策の展開方向	① 町民・団体・行政による自然管理	まちづくり推進課
	●身近な緑を大切にするため、地域ぐるみの緑化運動や美化活動、里山保全活動を促進し、積極的な支援を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
遊休農地の活用件数（累計） 【筆】	-	1	1	1					4
		対前年増減→	±0	±0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 地域団体の活動支援 【取組の概要（背景・目的等）】 身近な緑を大切にするため、地域ぐるみの緑化活動や美化活動、里山保全活動を行う町民及び団体に対し積極的な支援を行います。 【実施内容・成果（R04）】 桜ヶ丘駐輪場花壇の会には、夏にはジニア150本、冬にはパンジー150本を植えてもらい景観保全に努めました。 農業委員会には、遊休農地（1筆）を利用して、夏にヒマワリを植えてもらうなどの景観保全活動や、整備が行き届いていない森林の所有者のかたへの通知や里山保全の認知活動を概ね月1回程度行うとともに、不法投棄等が行われていないかの調査も行いました。 「ら・かんまき・笹ゆり」については、笹ゆり植栽活動（役場前、上牧第三小学校、上牧第二中学校、金富公園、桜ヶ丘公園、上牧幼稚園、2000年会館東側土手、米山台いこいの広場）を行っていただきました。	B	【課題】 全ての団体の活動に対して、広報やホームページへ掲載するなどの周知活動を行う必要があります。 【今後の取組方針】 借り手のない遊休農地または町所有の土地で利用可能な土地をピックアップすることで全ての団体の活動を拡大することを検討し、これら以外の活動団体を募集し本事業の推進に努めていきます。また、このような活動に対し、地域の子どもたちの協力を得ながら推進していくことを教育委員会と協議していきます。

総合戦略

-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	② 里山の保全	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●山林への不法投棄については、パトロールを実施するなど監視体制を強化します。 ●無秩序な開発行為に対する指導・規制を強化します。 ●山林の治山・治水・水源かん養※1等の公益機能を高めるための管理・保全体制を強化します。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
森林所有者の森林管理・整備に関する意向確認進捗率【%】	-	-	10.0	10.0					50.0
		対前年増減→	+10.0	±0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	総合戦略
取組① 森林環境譲与税を活用した森林の管理・整備			-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】</p> <p>森林の有する公益的機能の維持増進や、森林の整備及び促進に資するため、森林環境譲与税を活用した森林の管理及び整備を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】</p> <p>整備が行き届いていない森林の所有者の方への通知や里山保全の認知活動を概ね月1回程度、農業委員会の協力のもと行いました。また同時に不法投棄等が行われていないかの調査も行いました。</p> <p>上牧町の山林におけるイノシシ発生に伴い、里山の保全及び住民への被害を防ぐため猟友会協力のもと防除活動を行い、10頭のイノシシを捕獲しました。</p> <p>上牧町アライグマ防除実施計画に基づき、14頭のアライグマを捕獲し奈良県家畜保健衛生所へ持ち込みました。</p> <p>森林教育及び普及の観点から、森林環境基金を利用し町内小学校5年生全クラスの野外活動への研修費に充てました。</p>	B	<p>【課題】</p> <p>里山を保全することによる環境改善や防災対策、鳥獣対策等のメリットがあるということを森林所有者の方に認知してもらう必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】</p> <p>里山保全について町のHPや広報に掲載し、また、相続されていない森林や所有者不明の森林を少しでも減らすよう、農業委員会協力のもと周知活動を行っていきます。</p>	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	② 里山の保全	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●山林への不法投棄については、パトロールを実施するなど監視体制を強化します。 ●無秩序な開発行為に対する指導・規制を強化します。 ●山林の治山・治水・水源かん養等の公益機能を高めるための管理・保全体制を強化します。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 定期的な環境パトロール・啓発活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 不法投棄のないまちを目指し、パトロールや不法投棄撲滅についての啓発を行います。 【実施内容・成果（R04）】 定期的（毎週月曜日）にパトロールを行い、不法投棄の防止及び管理体制の強化に努めました。 不法投棄のあった場所は看板を設置・パトロールの強化をしました。 ・令和4年度不法投棄件数：10件 （タイヤ、建築廃材、鉄筋、マットレス、可燃ごみ） （参考：令和3年度 18件） ・令和4年度看板設置件数：4カ所 （松里園（2カ所）、桜ヶ丘1丁目（1カ所）、南上牧（1カ所）） （参考：令和3年度 6カ所）	A	【今後の取組方針】 引き続き定期的なパトロールを行いますが、より多くの監視が叶うよう、町全体で監視体制ができるよう対策を講じます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	③ 環境汚染の防止	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。 ●河川への生活排水の流入を防止するため、公共下水道の整備を進め多様な生物が生息する環境づくりを図ります。 ●河川の汚染を進める洗剤や薬品、油等の廃棄防止について、各家庭や各事業所への啓発を進めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 定期的な環境パトロール・啓発活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。（週1回） 水質異常を防止するための啓発活動を行います。（毎年2月） 【実施内容・成果（R04）】 水質異常を防止するための啓発活動を毎年2月に実施していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされました。 大和川河川事務所から提供していただいたチラシ及びティッシュについては、担当窓口にて配布しています。	B	【今後の取組方針】 引き続き、町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。（週1回） 大和川流域における水環境の意識改善を促し、水質異常を防止するための啓発活動を毎年2月に実施していきます。
取組② 環境汚染に対する適切な対策の実施 【取組の概要（背景・目的）】 大和川クリーンデー及び大和川一斉清掃に合わせて滝川の一斉清掃を実施し、河川の環境汚染対策を進めていきます。（年2回） 【実施内容・成果（R04）】 令和4年7月の大和川クリーンデーに合わせ実施する滝川の一斉清掃については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされました。 令和5年3月の大和川一斉清掃に合わせて実施する滝川の一斉清掃では、滝川の近隣住民に対し広報及び自治会回覧を活用し参加を呼びかけ、3月5日（日曜日）に実施しました。11人のかたに参加していただき、45ℓのごみ袋に約100袋（約250kg）のごみを回収しました。	A	【今後の取組方針】 大和川一斉清掃、大和川クリーンデーの一環として、滝川の清掃を行います。広報及び自治会回覧を活用し、住民参加型としてボランティアのかたへの呼びかけを行い、3月と7月に清掃活動を実施していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	③ 環境汚染の防止	上下水道課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。 ●河川への生活排水の流入を防止するため、公共下水道の整備を進め多様な生物が生息する環境づくりを図ります。 ●河川の汚染を進める洗剤や薬品、油等の廃棄防止について、各家庭や各事業所への啓発を進めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共下水道接続率【%】	-	96.3	96.2	94.8					98.0
		対前年増減→	-0.1	-1.4					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 各家庭における公共下水道への接続の推進 【取組概要（背景・目的等）】 町内の公共下水道において、水洗化100%を目標としています。 【実施内容・成果（R04）】 公共下水道への接続の推進としては、町のホームページに公共下水道の接続義務についての説明文書を掲載し、また、未接続である家屋へ訪問させていただき対面での説明を行っていましたが、現在はコロナ禍でもあるのでポスティングによる啓発活動を行っています。	B	【課題】 未接続家屋所有者の経済的な問題等により、整備できていない状況となっています。 【今後の取組方針】 今後については、汚水が影響する環境汚染を考慮し接続義務への理解を広く得るため、できる限り足を運んだ啓発活動を行い公共下水道接続率向上に努めていきたいと考えています。

総合戦略

-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	④ 景観緑化	まちづくり推進課
施策の展開方向	●かんまき笹ゆり回廊の整備を推進し、やすらぎと憩いのある緑地空間を整備するなど、良好な景観づくりや緑化に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】	○	47.0 対前年増減→	89.0 +42.0	89.0 ±0					100
まちのきれいさや騒音の少なさなど身の回りの環境に満足している市民の割合【%】	-	23.4 対前年増減→	- -23.4	- ±0					75.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業 【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備を推進し、やすらぎと憩いのある緑地空間を整備するなど、良好な環境づくりに努めます。 【実施内容・成果（R04）】 令和3年度に実施した滝川左岸の自転車優先道整備により、かんまき笹ゆり回廊の一部であり町内の主要な水辺・緑地としての滝川周辺をより安全かつ身近に利用いただけるようになりました。 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いに、令和元年度に整備をしました芝桜については、開花時期に合わせライトアップを行いました。 滝川遊歩道終点の下牧地区に、休息休養や待ち合わせ等に利用でき、災害時の防災拠点としても活用できる公園広場を整備しました。	B	【課題】 上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開する必要があります。 【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業のイベントを打ち出すとともに、既存の回廊のルートについて広く町内外に周知し、現地でもルートを確認できる案内表示等の設置についても検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	⑤ 公園緑地	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区にやすらぎや憩いのあるポケットパーク等の緑地空間を適切に配置します。 ●町内各公園緑地の適切な維持管理に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 定期的な緑地の維持管理 【取組の概要（背景・目的等）】 公園緑地の草刈、樹木の消毒及び剪定等を実施し適切な維持管理に努めます。 【実施内容・成果（R04）】 公園緑地の維持管理については、5月～7月頃・9月～11月頃に年2回の草刈委託業務、5月頃・9月頃に年2回の樹木消毒業務、1月～3月頃に年1回の樹木剪定業務を実施しました。 片岡台2号公園・桜ヶ丘1号公園・ゆりが丘2号公園・滝川西公園・丸尾公園・梅ノ木公園について、樹高を揃える等の剪定及び伐採についての自治会要望等に対して、現地での確認を経て、樹木の処理等の程度について綿密に打合せを行い、円滑に実施しました。	A	【今後の取組方針】 年2回の草刈委託業務、年2回の樹木消毒業務、年1回の樹木剪定業務を実施し、定期的な緑地の維持管理に努めていきます。また、今後も同様の自治会要望等に対して、樹高を揃える等の剪定及び伐採等を検討していきます。
取組② 公園遊具の適切な維持管理 【取組の概要（背景・目的等）】 例年行っている公園内の遊具の安全性を確保するため、公園施設点検管理士の有資格者による公園遊具の保守点検を実施し、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施し、公園遊具の適切な維持管理に努めます。 【実施内容・成果（R04）】 令和3年度の遊具保守点検結果から、D判定の遊具の更新（23遊具）及び修繕（3遊具）並びに撤去（10遊具）を実施しました。	A	【今後の取組方針】 公園内の遊具の安全性を確保するため、公園遊具の保守点検を実施していきます。また、危険がないよう、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施し、公園遊具の適切な維持管理に努めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	⑤ 公園緑地	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●各地区にやすらぎや憩いのあるポケットパーク等の緑地空間を適切に配置します。 ●町内各公園緑地の適切な維持管理に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 滝川における清らかな水辺の創造計画の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備を推進し、やすらぎと憩いのある緑地空間を整備するなど、良好な環境づくりに努めます。 【実施内容・成果（R04）】 令和3年度に実施した滝川左岸の自転車優先道整備により、かんまき笹ゆり回廊の一部であり町内の主要な水辺・緑地としての滝川周辺をより安全かつ身近に利用いただけるようになりました。 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いに、令和元年度に整備をしました芝桜について、開花時期に合わせライトアップを行いました。 滝川遊歩道終点の下牧地区に、休息休養や待ち合わせ等に利用でき、災害時の防災拠点としても活用できる公園広場を整備しました。	A	【今後の取組方針】 滝川水辺周辺は植生豊かな箇所が多く、草木が通行者の妨げとならないよう、剪定等の継続した維持管理に努めます。

総合戦略

-